

船舶事故等調査報告書

平成23年10月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|            |   |  |
|------------|---|--|
| 事故等番号      | 2011広第60号   |  |
| 事故等種類      | 乗揚  |  |
| 発生日時       | 平成23年2月11日 10時30分ごろ   |  |
| 発生場所       | 岡山県倉敷市水島港<br>水島港玉島防波堤灯台から真方位132° 1.0海里付近<br>(概位 北緯34° 29.1′ 東経133° 40.7′)   |  |
| 事故等調査の経過   | 平成23年4月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。<br>原因関係者から意見聴取を行った。  |  |
| 事実情報       | <p>船種船名、総トン数<br/>船船番号、船舶所有者等</p> <p>A 押船 第二十五住力丸、65トン<br/>135275、有限会社住力商事</p> <p>B はしけ S-18、約1,051トン<br/>なし、有限会社住力商事</p>                      |  |
| 乗組員等に関する情報 | A 船長A、五級海技士（航海）<br>B なし   |  |
| 死傷者等       | なし  |  |
| 損傷         | A 船底及びプロペラが損傷<br>B 不明   |  |
| 事故等の経過     | A船は、船長Aほか3人が乗り組み、船首約2.2m、船尾約3.3mの喫水で、土砂約1,600tを積載して喫水が船首約2.5m、船尾約3.5mとなったB船を押し、水島港内の護岸近くで針路を西に向け、約1.0ノットの対地速度で作業中、平成23年2月11日10時30分ごろ、船底が接触した。 |  |
| 気象・海象      | 気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2、視界 良好<br>海象：潮汐 上げ潮の初期  |  |
| その他の事項     | B船は、作業員3人が乗船していた。<br>乗揚場所は、海上保安庁発刊の海図W1127Bによれば、水深が、約6.1mであるが、本事故発生場所付近は、本事故発生前からB船から降ろした土砂が堆積していて水深が浅くなっていた。                                 |  |
| 分析         | 乗組員等の関与<br>船体・機関等の関与<br>気象・海象の関与<br>判明した事項の解析   | あり<br>なし<br>なし<br>A船は、B船を押し水島港内の護岸付近で作業中、護岸に接近していたことから、浅所に乗り揚げたものと考えられる。 |
| 原因         | 本事故は、A船が、B船を押し水島港内の護岸付近で作業中、護岸に接近していたため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。  |  |